

関東支部報告

令和3年度共晶会関東支部活動報告

令和3年度共晶会関東支部総会は、新型コロナウイルス禍のために、昨年度に引き続き11月にオンラインでの開催となりました。今年度こそはリアル開催またはハイブリッド（リアルとオンラインの併用）開催と意気込んでいたのですが、事前に会場を確保する都合により結局オンライン開催となりました。結果的に11月は第5波が収束して急激に新規感染者が減った時期でしたが、幹事の判断としては安全サイドでオンライン開催とせざるを得ませんでした。

恒例の名古屋大学からの講師招聘は、小橋眞教授にオンラインで参加していただきました。小橋先生には「積層造形技術（金属3Dプリンタ）の可能性～新しい形状と新しい材料～」と題して、約1時間の講演をしていただきました。この講演は総会の開催案内を発信したときから反響があり、当日は期待に違わぬ有意義な講演でした。総会には小橋先生を含む16名が参加し、WEB上で先生の講演と各自の近況報告で楽しいひとときを過ごしました。

更に今回は関東支部総会初のケースとして、共晶会会員である東京都立大学・笈幸次教授（S58/S61M 細井研）の研究室の学生10名（学部4年1名、修士1年4名、修士2年4名、博士2年1名）が、小橋先生の講演を聴講されました。今後とも、このように活動の輪を広げて行ければ良いと思います。

小橋先生は1988年（S63）に学部（鋳部研究室）を卒業され、1990年に大学院博士課程前期課程（長研究室）を修了されて、名大助手になられました。その後、約1年のオックスフォード大学材料工学科客員研究員（1996年）を経て、2004年に同准教授、2014年に名大教授に就任されました。その後は、2016年～2018年には材料バックキャストテクノロジー研究センター長、2020年～2022年には大学院工学研究科副研究科長を務められるなど、ほぼ名大一筋にご活躍されてきました。

総会では、小橋先生の多岐に亘る知見を基に、積層造形技術（金属3Dプリンタ）について、以下の3部構成で興味深い講演をしていただきました。ここでは紙面の都合上その全貌はとても記述できませんが、その一端をご紹介します。

1. 金属AM（Additive Manufacturing：積層造形）の紹介
2. L-PBF（Laser-Powder Bed Fusion）法で造形したAl合金の微視組織と力学特性
3. 金属AMの応用例と展望

この講演の中では、金属AMの原理から始まり、AlSi10Mg合金の微細組織写真や造形ままと熱処理後の力学特性の比較など、興味深いスライドが次々に紹介されました。そして、金属AMの応用例が幾つか紹介され、医療用器具の作成や隔離病室の製造などのコロナ対策にも利用されているという今日的な話題にも触れていただきました。

講演の最後には「ポストコロナを見据えた工学部・工学研究科の教育について」と題して、最近のコロナ渦での授業等への対応が紹介されました。ここでは、オンライン授業を実施するための大学側の施策や学生アンケート結果などが説明され、「学年進行とともに遠隔講義を好む割合が増える」などの興味深い結果も紹介されました。更には、オンラインでの遠隔試験の難しさを

どの問題提起もあり、先生方の苦勞が偲ばれます。学生にとって大学の機能は、単に授業を受けるための機関ではなく、人間形成の場でもあると思います。オンライン授業の利点も取り入れつつ、感染拡大防止も考慮して、うまく舵取りをしていって欲しいと思います。

講演の後も、参加者からの質疑応答や更には先輩からのサジェスションもあり、有意義な時間になったと思います。

小橋先生の講演の後は歓談に移り、各自が手元に用意した食事を取りながら、参加者の近況報告などが行なわれました。昨年度に続くWEB上での近況報告で、例年とは少し勝手は違いますが、ちょうど所定の時間内に皆さんの近況を伺うことができました。参加者の中には会社をリタイアして第2の人生に踏み出されている方も多く、いろいろな話を聞くことができ、そろそろリタイアにリーチが掛かっている者として参考になることも多々ありました。

関東支部総会は、このところ現役世代の方々の参加が少ないのが実情です。この小文を目にした関東地区（に限らずどなたでも歓迎です）在住の方は、関東支部総会への参加を是非ご検討ください。現役世代の方々の情報交換や旧交を温める場として活用していただければ幸いです。なお、例年の総会開催案内が届いていない方は、下記事務局までご連絡ください。

総会は例年11月の第3日曜日（変更の場合あり）に開催しています。次回（来年度）の総会は、コロナの状況次第ですが、できればハイブリッド開催を目指しています。同窓会はやはり対面に代えがたいものはありますが、遠距離の方やリアルでの出席時間の都合の付かない方もオンラインでの参加をご検討ください。実施方法は今後幹事会で検討していきますが、何かご要望がありましたら下記事務局までお知らせください。

また、こうすれば参加できる（時間帯・場所・会費等何でも）というようなご意見がありましたら、同様に下記事務局にお寄せください。次回すぐに反映させるのは難しいかもしれませんが、できるだけの対応を幹事会で検討していきたいと思っております。

最後に、参加者の方々、また開催に協力いただいた共晶会本部の方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。

（共晶会関東支部長 井上 茂（S56/58M 坂尾研））

<事務局連絡先>

黒岩和典（S52 戸澤研）Kuroiwa779618@gmail.com

以上

関西支部報告

令和3年度共晶会関西支部活動報告

2021年度の共晶会関西支部、総会及び懇親会を例年であれば2022年3月に開催する予定でございますが、変異株等によりコロナ禍が完全に鎮静化していない状況を鑑み、本年度についても開催を中止させていただくことといたしました。

安心して開催できる状況になりましたら、改めてご案内させていただきます。

何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

一刻も早い終息と皆様のご健康を祈念申し上げます。

今後との共晶会活動へのご支援の程よろしく申し上げます